



Fiery Ticker

© 2017 Electronics For Imaging, Inc. 本書に記載されている情報は、本製品の『法律上の注意』の対象となります。

2017年4月19日

目次

Fiery Ticker	5
Fiery Ticker のステータスバー	5
Fiery Ticker のフルスクリーンビュー	5
Fiery Ticker のショートカットを使用する	6
Fiery Ticker の表示を変更する	6
Fiery Ticker のステータスバーとフルスクリーンビューを切り替える	6
Fiery Ticker のステータスバーを表示または非表示にする	7
Fiery 注釈メモを使用する	7
Fiery 注釈メモで注釈を作成する	7
注釈を編集、移動、または削除する	7
Fiery Ticker を設定する	7
Fiery NX Station LS の近接センサーによる動作検出	8

Fiery Ticker

Fiery Ticker は、Fiery サーバーに接続されたディスプレイに表示される Fiery サーバーのステータスインターフェースです。Fiery Ticker は、ログインすると自動的に起動し、ステータスバーとして表示されます。ステータスバーとフルスクリーンビューを切り替えることができます。

また、Fiery Ticker では、Fiery 注釈メモを使用して注釈を表示することもできます。

Fiery Ticker のステータスバー

ステータスバーには、ステータスインジケータと、一般的なタスクへのショートカットが表示されます。

ステータスインジケータには次のものが含まれます。

- 現在処理中のジョブ名と現在処理中のページ番号を示す進行状況インジケータ
- 現在印刷中のジョブ名と現在印刷中のページ番号を示す進行状況インジケータ
- Fiery サーバーの名前または IP アドレス
- Fiery サーバーの状況（「使用可能」、「使用中」、「印刷中」など）
- エラー（紙詰まりなど）
- トナーレベル残少警告（設定可能）
- 給紙トレイレベル残少警告（設定可能）

Fiery Ticker のフルスクリーンビュー

フルスクリーンビューでは、Fiery サーバーをリモートから視覚的に監視できます。

Fiery Ticker のフルスクリーンビューには、次の情報が表示されます。

- 現在印刷中のジョブの進行状況インジケータおよびジョブ名
- 現在印刷中のページのページ番号
- 最も最近印刷されたジョブの名前
- 印刷速度メーターおよび印刷待機中のジョブ数
- 現在処理中のジョブの進行状況インジケータおよびジョブ名
- 処理速度メーターおよび処理待機中のジョブ数
- Fiery サーバーの名前およびモデル
- 現在の日付と時刻

- トナーレベル（設定可能）
- 給紙トレイレベル（設定可能）

注意が必要な状況では以下のインジケータも表示します。

- トナー残少警告アイコン（設定可能）
- 給紙トレイ残少警告アイコン（設定可能）
- エラーが発生すると、Fiery Ticker が赤い点滅インジケータとエラーメッセージを表示します。また、アラーム音を出力することもできます。

Fiery Ticker のショートカットを使用する

Fiery Ticker ショートカットメニューには、Fiery Ticker コマンド、Fiery アプリケーション（Fiery 注釈メモなど）へのショートカット、および Fiery サーバーで行うタスク用のコマンドが含まれています。Fiery アプリケーションをインストールすると、Fiery Ticker にそのアプリケーションへのショートカットを追加できます。

- ショートカットメニューを開くには、マウスのポインターをステータスバーの左側にある>>アイコンに合わせます。

Fiery Ticker の表示を変更する

Fiery Ticker では、ステータスバーとフルスクリーンビューを切り替えることができます。また、ステータスバーの表示/非表示を切り替えることもできます。

Fiery Ticker のステータスバーとフルスクリーンビューを切り替える

ステータスバーとフルスクリーンビューを切り替えることができます。

- 次のいずれかの操作を行います。
 - ステータスバーからフルスクリーンビューに切り替えるには、ステータスバーをダブルクリックします。
 - フルスクリーンビューからステータスバーに切り替えるには、Esc キーを押します。
 - Fiery サーバーのアイドル状態が一定時間続いたあと、フルスクリーンビューに自動的に切り替えるには、Fiery Ticker の設定を指定します。

Fiery Ticker のステータスバーを表示または非表示にする

ステータスバーを表示または非表示にできます。

- 次のいずれかの操作を行います。
 - ステータスバーを非表示にするには、システムトレイの Fiery Ticker アイコンをクリックし、Fiery Ticker を非表示をクリックします。
 - ステータスバーを表示するには、システムトレイの Fiery Ticker アイコンをクリックし、Fiery Ticker を表示をクリックします。

Fiery 注釈メモを使用する

Fiery 注釈メモでは、Fiery サーバーに接続されたディスプレイに注釈を投稿できます。この注釈は、他のどのウィンドウよりも常に手前に表示されます。

Fiery 注釈メモで注釈を作成する

Fiery Ticker のステータスバーまたはフルスクリーンビューから注釈を作成できます。

- 1 次のいずれかを行います。
 - フルスクリーンビューで、画面左上隅の注釈アイコンをクリックします。
 - ステータスバーで、マウスのポインターをステータスバーの左側にある >> アイコンに合わせて、注釈アイコンをクリックします。
- 2 表示された注釈内にテキストを入力します。

注釈を編集、移動、または削除する

注釈を編集、移動、または削除できます。

- 次のいずれかの操作を行います。
 - 注釈を編集するには、注釈内をクリックして、テキストを編集します。
 - 注釈を移動するには、注釈の一番上にあるピンのマークをドラッグします。
 - 注釈を削除するには、注釈内をクリックして、Esc キーを押します。

Fiery Ticker を設定する

Fiery Ticker の設定は、Fiery Ticker の外観と動作を制御します。

- 1 ステータスバーに切り替えます（まだステータスバーが表示されていない場合）。
 - 2 マウスのポインターをステータスバーの左側にある>>アイコンに合わせて、Fiery Ticker 設定をクリックします。
 - 3 次のいずれかの設定を指定します。
 - アイドル状態の後、フルスクリーンビューに切り替える - Fiery サーバーの使用可能状態が一定時間続いた後、自動的にフルスクリーンビューに切り替わります。この設定はデフォルトで有効になっており、デフォルトの使用可能時間として 2 分が指定されています。
 - トレイおよびトナーレベルを表示 - フルスクリーンビューでの給紙トレイとトナーレベルの表示方法を設定します。これを選択すると、常に給紙トレイとトナーレベルが表示されます。これを選択しない場合、残量が少なくなると、給紙トレイとトナーレベルが表示されます（アラート設定を使用すると、残量を表示する値を指定できます）。

ステータスバーには、残量が少なくなった場合にのみ、給紙トレイとトナーレベルが表示されます。
 - 印刷ゲージの最大値 - 印刷ゲージがフルスクリーンビューで表示する最高印刷速度（1 分間または ppm 当たりのページ数）を設定します。自動を選択すると、Fiery サーバーに設定されている最高印刷速度が使用されます。
 - 言語 - Fiery Ticker インターフェイスの言語を設定します。自動を選択すると、Fiery サーバーの言語設定が使用されます。
 - テーマ - ステータスバーの配色を設定します。
 - トレイの残少警告を表示する基準値 - 給紙トレイの警告レベルを設定します。給紙トレイの残量がこの値より少なくなると、Fiery Ticker に警告が表示されます。警告を無効にするには、スライダーを左いっぱいに動かします。

フルスクリーンビューでは、特定のトレイレベルの横に警告のアイコンが表示されます。
 - トナーの残少警告を表示する基準値 - トナーの警告レベルを設定します。トナーの残量がこの値より少なくなると、Fiery Ticker に警告が表示されます。警告を無効にするには、スライダーを左いっぱいに動かします。

フルスクリーンビューでは、特定のトナーレベルの横に警告のアイコンが表示されます。
- メモ：** Fiery サーバーでは、Fiery Ticker とは別に画面の上部にトナー残少を示す状況メッセージが表示されます。この設定は、Fiery サーバーの状況メッセージには影響しません。
- エラー時にアラーム音を鳴らす - Fiery Ticker が、エラーが発生した場合にアラーム音を鳴らします（エラーも表示します）。

Fiery NX Station LS の近接センサーによる動作検出

Fiery NX Station LS では、内蔵の近接センサーによって Fiery サーバー手前での動作が検出されて自動的に Fiery Ticker の表示モードが切り替わり、アクティブなアプリケーションでの作業にすばやく戻ることができます。

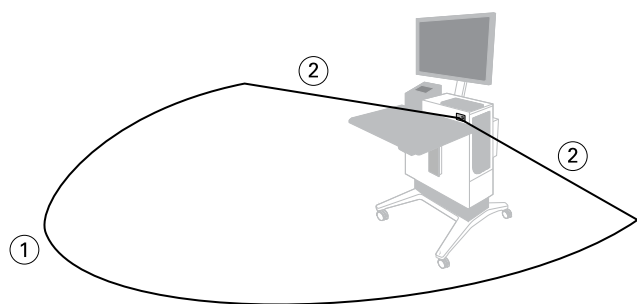
Fiery サーバーが使用可能な状態になると、Fiery Ticker は設定で指定されている期間に従ってフルスクリーンモードになった後で使用可能状況になります。デフォルト期間は 2 分です。少し離れたところから Fiery サーバーに近づくと、近接センサーによってその動作が検出され、Fiery Ticker の表示モードがフルスクリーンからステータスバーに変わります。

Fiery サーバーでログインが有効になっている場合は、Fiery サーバーに近づいた後で Fiery Ticker を使用する前にシステムへの再ログインが必要な場合があります。

Fiery Ticker は、キーボードやマウスの操作、および動作が 20 秒間検出されないと、フルスクリーンモードに復帰します。

メモ：近接センサーは Fiery NX Station LS に内蔵されています。Fiery サーバーの手前での動作が検出されなくなることを防ぐため、センサーを妨げる物体がないことを確認してください。

図 1: 近接センサーの動作検出範囲



1 前面から 13 フィート (4 m)

2 側面から 7 フィート (2 m)

